

提出日：2023年11月16日

大学コンソーシアム京都インターンシップ・プログラム

長期プロジェクトコース プロジェクト報告書

実習先：株式会社ユニオン・エー

若者向けフリーマガジン「おっちゃんとおばちゃん」を悩める学生に発信しよう！

多様な働き方を考える

受講生氏名：宮地里奈、山木亜香、ヤンジス

1. はじめに

私たちは株式会社ユニオン・エーのもとで、約半年インターンシップ生として活動を行った。実習先である株式会社ユニオン・エーは2013年10月1日に設立され、事業内容は出版、企画、編集、広報ツール制作一式である。今回のプロジェクトでは、出版物の一つであるフリーマガジン『おっちゃんとおばちゃん』を多くの学生に発信することを目標に活動を行った。本報告書では長期インターンシップでの活動記録と成果について述べていく。

2. 主な活動内容

①事前訪問前

事前訪問前の話し合いで、私たちは本が好きで出版やメディア業界に興味があるという共通点があることが分かった。そこで、今回のインターンシップでどのようなことがしたいか、どのようなことに興味があるのかを明確にするためにそれぞれの意見を共有した。また、今回のインターンシップの軸となる雑誌、『おっちゃんとおばちゃん』を熟読したうえで感想を共有した。

②事前訪問

事前訪問では、株式会社ユニオン・エーが発行しているフリーマガジン、ハンケイ500m、ハンケイ5m、おっちゃんとおばちゃんの3つの雑誌の説明をうけた。また、今回の長期インターンシップでの目標である「雑誌を通じて多様な価値観が尊重される社会にする」こと

についてどのような方法があるかを話し合うようにとの指示を頂いた。実際に訪問することで会社や社員さんの雰囲気が分かり、短い時間ではあったが良い時間となった。

二度目の訪問では、8月30日に行われた「はたらくおとなと、縁側で話す会」というイベントの説明を受け、受講生には集客のための告知活動と当日は参加者として活動してほしいとの指示を頂いた。

事前訪問を終えて、イベントへの参加、雑誌制作のお手伝い、インタビュー動画の制作の3つの活動を行うことを決定した。以下では私たちがどのような活動を行ったのかを振り返っていく。

③マツヤスーパー座談会

8月4日に、マツヤスーパー山科店にて座談会が行われた。参加者はレジチーフとして働く女性社員と学生7人、そして副編集長の呉さんである。座談会の前に事前打ち合わせとして、呉さんと学生とでレジチーフの皆さんに聞きたいことや自分の興味のある事柄について話し合った。事前に打ち合わせを行い、学生それぞれが座談会の目的を明確にすることで、当日はスムーズに話し合いを行うことが出来た。座談会では、接客業と関連してコミュニケーションについて、入社を決めたきっかけ、仕事内容など様々な分野で話を聞くことが出来た。今までお客さんとして買いに来る側でありスーパーマーケットについて意外と知らないことが多く、スーパーマーケットが地域にどのように貢献しているのかなど、学ぶことの多い時間となった。また、座談会の様子は実際に『おっちゃんとおばちゃん』34号の紙面に載り、取材の様子がどのように紙面にまとめられるのかについても学ぶことが出来

た。

④はたらくおとなと、縁側で話す会

8月30日に「はたらくおとなと、縁側で話す会」というイベントがKBSホールにて行われた。受講生はイベントまでの集客のための告知、当日は参加者として活動した。告知については、集客のためにチラシを大学のキャリアセンターとキャンパスプラザ京都へ配布と設置、受講生個人とおっちゃんとおばちゃん公式インスタグラムへの告知文投稿、企画者と脚本を手掛けた学生へのインタビュー動画作成と投稿、最寄り駅から会場までの行き方動画作成と投稿を行った。インタビュー動画はイベントの特徴や見どころなどを聞き、30秒にまとめ、広告としてInstagramのストーリーの合間に流していただき、中には約2万回再生されたものもあった。動画は伝えたいことを簡潔に30秒に収まるようにまとめることが難しく、社員さんにアドバイスをいただきながら動画を作成することが出来た。

イベント当日は一般的な就職イベントの形式とは異なり、イベント名にあるように企業と学生がまるで縁側に座るように横に並んで話をし、合間には就職活動にまつわるコントが上演された。コントでは、親の知っているような多くの人が知っている会社がいいのか、なぜスーツを着なければならないのかなど、就活にまつわるあるあるが題材となり、共感することが多かった。さらに企業さんとの話では、理系文型関係なく未経験から始めている人も多いということ、好きなことを仕事にすることの迷いなど、実際に働いている人の話を聞くことが出来た。学生同士でも、自分だけではなく多くの学生が同じような悩みを持っていて話しやすかったことが印象的だった。

⑤インタビュー

編集者の思いを伝え「おっちゃんとおばちゃん」をより多くの人に知ってもらうために編集長の円城さん、副編集長の呉さん、AE(アカウントエグゼクティブ)の山田さんにインタビューを行った。質問は「出版業界について」、「ユニオン・エーについて」、「おっちゃんとおばちゃんについて」、の3つの種類にわけた。それぞれ1時間程度時間をいただきインタビューをさせていただいた。実際にインタビューをしていると興味のあるお話をたくさんしていただき非常に充実した時間となった。

完成次第ユニオン・エーのYouTubeにアップロードすることを考えている。

⑥WEB 記事文字起こし

雑誌制作のお手伝いでは、取材の参加の他に『おっちゃんとおばちゃん』34号の記事をWEB用に文字起こしする作業を体験した。受講生それぞれが一人三つの記事を担当し、文字起こししたものを提出した。記事は実際にWEB上で見る事が出来る。

⑦納品作業

雑誌の納品のお手伝いでは日頃お世話になっている会社などに必要な部数を封筒にまとめて梱包したり、実際に地下鉄に雑誌を置きに行ったりした。地下鉄に置きに行った時、実際に手に取ってくれる方を見て非常に嬉しく感じた。初めてお手伝いをさせていただき、雑誌の梱包や何万部もある雑誌を全て手作業で大変だったけれど、1から作った雑誌を梱包し

て読者に届けるまでが一つの仕事だと感じ普段できない経験をさせていただき良い機会になった。

⑧dbqp

京都とこや山川さんで開催され講演会に参加させていただいた。代表取締役 COO の川村さんは CEO の山下さんと株式会社 dbqp.co を設立し大人紳士向け理容室「DEAR BARBER」を大阪で展開されている。また、「京都 とこや山川」というジェンダーレスな美を追求する理容室をオープンされた。

講演会では理容のお話や理容師から企業された経緯、起業された時の苦労などさまざまなお話を聞くことができた。そこでは企業のコツとして自分がやりたいことよりもできることと今求められていることを重ね合わせないと困るものをビジネスにしたら良いと仰っていたことが印象に残っている。実際に経営されている方のお話を聞く機会は非常に貴重であり良い経験となった。

⑨ハンケイ 500m 浴衣イベント

京町・祥雲邸にて開催された「暑い夏を涼やかに楽しむ、京都 wabitas の浴衣でお茶会」に参加させていただいた。そこでは実際に着付けをしていただいたり、お茶席でお作法を教えていただきながら涼しげなお菓子をいただいた。参加者のほとんどが初めてであったが優しく教えていただき、京文化を楽しく体験することができた。京文化は身近であるが遠い存在だと感じていた部分があったので新しい視点での良い経験となった。

⑩ワタモヤ

ワタモヤとは日常生活で感じているモヤモヤを言語化しみなと共有して意見を出し合おうというイベントである。今回は自分に関わるモヤモヤがテーマであった。ご近所さんのモヤモヤから世界規模の大きさのモヤモヤまで幅広く出され自分たちの視野に入っていなかったモヤモヤも多くあり面白く発見のあるものとなった。

ここでは自分が悩んでいることやモヤモヤを言語化することは非常に重要であると感じた。言葉にすることで悩みを客観視することができより冷静に考えることができる。また、真面目に社会の問題を話し合う機会はあまりなかったのとても新鮮で学びのある時間となった。

3. 最後に

以上が長期インターンシップでの私たちの活動である。以下受講生それぞれの感想を述べていく。

(山木) 今回のインターンでは様々な人に出会いそれぞれの価値観に出会った。そこで自分の視野の狭さに気づきもっと広く自由に考え行動することが大切なのだと感じた。働くことについて真剣に考える機会となり充実した時間となった。まだまだ知らない仕事は数えきれないほどある。視野を広げこれからのキャリア選択の時に活かしていきたい。

(宮地) 今回のインターンシップでは出版の業務を学ぶとともに、座談会やインタビュー、

イベントなどを通して多くの人とコミュニケーションをとりながら、改めて働くことについて考えるきっかけとなった。それぞれの働き方があり、皆と同じではなく異なる価値観を持っていいのだと学ぶことが出来た。「おっちゃんとおばちゃん」や今までの活動を通して学んだ働くことの多様性を、今後の就職活動などに活かしていきたい。

(ヤン) 当初は出版業界や出版社の業務内容への興味から今回のインターンシップに参加したが、実際にはそれ以上に働くことや多様な価値観というテーマについて深く考察し自分なりの考えを定立する機会となった。多様性という価値をフリーマガジンという形で体现されている社員の方々を見て、私も今後仕事に就くにあたって社会に良い影響力を与えることを意識したいと考えた。

4. 謝辞

今回の大学コンソーシアム京都インターンシップ長期プログラムにおいて、株式会社ユニオン・エーの皆様、コーディネーターの先生方、事務局の皆様と数多くの方々にご協力・ご尽力いただきましたこと、心よりお礼申し上げます。長期インターンシップでの経験を糧にこれからも日々成長していきたいと思っております。本当にありがとうございました。